



令和7年度 第3回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年11月28日（金）15:00～16:30

議 題：最近の本校の教育活動について

出席者：学校運営協議会委員4名（欠席3名）+校長、副校長、教頭、総括教諭、事務長

○学校評価報告書の中間報告に対する意見聴取 （15:00～16:10）

| | 意見・質問・感想等 |
|-----|---|
| 委員A | <ul style="list-style-type: none"> ・新栄高校の様々な取組はとても充実していると感じる。 ・マンパワーの不足により、「教職員が生徒に向き合う時間が不足している」という学校の悩みは大変よく理解できる。自分の事業所も同様の状況であり、相談窓口等は多忙を極め、「人材確保」は非常に重要な課題となっている。 |
| 委員B | <ul style="list-style-type: none"> ・在県生徒は日本語力が不足して言葉がわからない状況があり、課題を深刻化している。日本語力向上が喫緊の課題であるが、学校だけでは対応しきれないと考えている。そのため、現在行っている地域ボランティア活動等を通して、外国につながるのある生徒が経験値を増やし、学校外の人にも自分を認められることで達成感を得て「自己肯定感」を高めてほしい。学校には、学校内外での活動の機会づくりを推進することを期待する。 |
| 委員C | <ul style="list-style-type: none"> ・経験不足にも関わらず、ツールを使用して検索することで物事を知った気になっている大学生が増えている。高校と大学の7年間をつなげ、さらに社会へとつなげる仕組みづくりが必要である。 ・出身高校の先輩学生が、大学見学の場で高校生をコーディネートする取組がある。このように地域や高校生、大学生の関わりを増やし、様々な人の目で若者を育てていきたい。 |
| 委員D | <ul style="list-style-type: none"> ・仲町台地区センターでは、小学生から大学生の多世代対象に職場体験やインターンシップを実施しており、地域活動の受入先として機能している。そのような中で、中高生が受け身ではなく、積極的に様々な活動に参加して経験を積み、達成感を得て成長してほしいと願っている。 |

○地域連携部会 （16:10～16:30）

●「仲町台地区センターまつり」について（足立氏より）

- ・横浜市、都筑区、高校生会議、地区センター等が連携して、町を盛り上げ、地域の活性化に貢献したい趣旨で例年開催している行事である。互いの文化をつなげ、異文化理解を図るためには仕掛けづくりが必要であるが、今回もそれを達成できたと感じている。
- ・準備段階では、新栄高校と日々輝学園高校の生徒達が「高校生会議」の場で交流を深めていった。センターまつり終了後に新栄高校の生徒会長にインタビューしたところ、「日々輝学園の生徒達と一緒に企画、運営できて良かった」「この取組を本校生徒会の伝統にしたい」との発言があり、生徒達の満足と今後の発展につながったことを実感した。